

# 国際金融論（2014 春） 中間試験

担当 岩村 英之

実施日時 2014 年 6 月 6 日 13:35-14:35

- 講義で配布したプリントや自前のノート等，持ち込みは一切不可．計算機の使用不可．留学生は紙の辞書の使用可．
- 計算機（電卓）の使用可．ただし，スマートフォン，携帯電話，ノート PC 等の計算機能は利用不可．
- 論述問題については，**時間と紙幅の許す範囲内**でなるべく丁寧に説明すること．丁寧に書けるということは，深く理解しているということ意味するので，その分高く評価する．
- いずれの問題も，**利子率や為替レートから GDP へのフィードバックがない「短期」**を想定して解答すること．

**第 1 問** 今，ドル建債券の利子率が 0.04 で，期待為替レートが 103 円であるとする．

1. 外国為替市場でドルが 102 円で売買されているとすると，円で測ったドル建債券の期待収益率はいくらになっているか．計算式とともに結果を示しなさい．小数点第 3 位以下を四捨五入して解答すること．(5 点)
2. 円建債券の利子率が 0.02 であるとする，市場で何が起こり，為替レートは最終的にどのような値に落ち着くと考えられるか．丁寧に説明しなさい．ただし，為替レートは少数第 3 位以下を四捨五入して解答すること．(10 点)
3. 2 の状態から，何らかの事件によって期待為替レートが 102 円に変化したとする．ドル建債券の期待収益率はいくらになるか．また，市場で何が起こり，為替レートは最終的にどこに落ち着くと考えられるか．説明しなさい．期待収益率および為替レートは少数第 3 位以下を四捨五入して解答すること．(10 点)

**第 2 問** 残存期間 5 年，額面価格 10 万円，クーポンレート 0.025 の利付債が，流通市場で 99,300 円で売買されているとする．

1. この債券を購入すると，どのようなタイミングでどのような金額の受け取り・支払いが生じるか．図示しなさい．(5 点)
2. この債券を満期まで保有することで，あなたは資金をいくらの子利率で運用したことになるか．子利率を計算するための方程式を立てなさい．ただし，子利率は  $i$  と表記すること．**注意**：子利率自体は計算しなくてよい．(5 点)
3. この債券を購入したあなたが，満期まで 1 年を残して市場で売却したとする．そのときの売却価格を 99,800 円とすると，あなたは結局，資金をいくらの子利率で運用したことになるか．子利率を求める式を立てなさい．ただし，子利率は  $i'$  と表記すること．**注意**：子利率自体は計算しなくてよい．(5 点)

**第 3 問** あなたは今日 10 万円を子利率 0.03 で借り入れ，今後 3 年間で返済するとする．毎年同額ずつ返済していく場合と，3 年後にまとめて返済する場合とで，返済額の合計はどちらのほうが大きくなるか．理由を付して答えなさい．必要に応じて，図や式を自由に用いてよい．いずれにせよ，出来る限り説得力のある説明をすること．(10 点)

**第4問** 資産市場に関する以下の問いに答えなさい。

1. 資産の「流動性」とはどのような性質か。簡単に説明しなさい。(5点)
2. 今日、先進的な決済技術が発明されて、以前のように決済のために多くの貨幣を持つ必要がなくなったとする。結果として、金融市場でどのような変化が生じ、利子率はどのように変化すると考えられるか。人々の行動および利子率の変化していく過程を説明しなさい。(10点)
3. 前問の変化を、貨幣市場の均衡を表すグラフを用いて説明しなさい。特に、どの曲線がなぜそのようにシフトするのか説明すること。(10点)

**第5問** 「国内総生産 (GDP)」に関する以下の問いに答えなさい。

1. 国内総生産 (GDP) とは何か、簡潔に、しかし不足のないよう説明しなさい。(10点)
2. GDP は原則として**市場取引ベース**で計算される。この意味を説明しなさい。また、この原則の例外について**説明しなさい** (例外として扱われる財・サービスを挙げるだけではダメ)。(10点)
3. ある年の日本の消費支出が 290 兆円、投資支出が 150 兆円、政府支出が 100 兆円であったとする。さらに、この年に日本が 80 兆円分の財・サービスを輸出し、同時に 90 兆円分の財・サービスを輸入したとする。この年の日本の国内総生産はいくらであったと考えられるか。簡単な計算式も示すこと。(5点)
4. 輸出の GDP に対する比率が 100 パーセントを超える国が存在する (例えば、スイス、ベルギー等)。国内で生産された製品・サービスの一部を輸出することを考えると、輸出が GDP の大きさを超えることは不思議に感じられるかもしれない。どのようなケースで輸出/GDP 比率が 100 パーセントを超えるのか、ひとつ具体例を挙げて説明しなさい。(10点)